

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月22日

事業所名 B'sこどもLabo

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|---|----|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 運動や療育の部屋を設けています。園庭でも遊べます。温水プールもあります。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | 配置基準より多く配置しています。 | こどもや保護者が不安にならないよう心がけます。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 下駄箱や所持品の棚に児童の写真を貼り自分の場所だと分かるようにしている | 机などで車いすが通れなくなるよう配置に気を付けています。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 降園後毎日掃除をしている | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 日々の振り返りと、毎月、殆どのスタッフが出席する会議を開催し振り返りを行っています。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 評価表でのご意見に書かれていることは改善に努めています。 | 評価表の周知や対応結果は、お知らせ紙面を通して周知したいと思います。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | ホームページ記載 | 評価表の周知や対応結果は、お知らせ紙面でも周知したいと思います。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | 現在第三者評価していません | 今後、検討 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 毎月月替わりで研修会を実施 | 外部研修も多数出席 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 児発管の他、関わる支援員、看護師、理学療法士、施設内の他部署のメンバー(スポーツジムや温泉施設)からの情報も計画取り入れている。 | 計画と日々の支援のリンクをもっと行う。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 標準化されたものを参考にしています。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | | | 個人の発達を見ながら生活動作の支援を行い保護者からの要望、家庭での様子を聞き取り内容を設定している | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 計画に沿って行うようにしています。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 児発管の他、関わる支援員、看護師、医師、理学療法士、施設内の他部署のメンバー(スポーツジムや温泉施設)からの情報も計画取り入れています。 | 支援面において、他部署との連携は常に心がけています。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 一日の中でも活動プログラムがいくつかの中から選択できるようになっています。 | こどもの興味や特性に合わせて、変えてもいいですし、固定化していません。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | それぞれの特性や希望に応じて、個別も集団活動も行っています。 | 個別から集団に移行できるような支援も行っています。 |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 各児童の体調や天候を含めて確認している | 情報共有としてデスクネットやスラックといったITCを使って、内容や役割の情報も行き来できるようにしています。 |
| 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 送迎等で終了時間がまちまちなので、引継ぎは行わず、振り返りは翌日朝行っています。 | 情報共有としてデスクネットやスラックといったITCを使って、密に情報を行き来できるようにしています。 | |

| | | | | | | | |
|------------|--------------|--|--|---|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 検証は計画立案前や保護者懇談寺に実施 | | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 児発管の他、関わる支援員、看護師、医師、理学療法士、施設内の他部署のメンバー(スポーツジムや温泉施設)からの情報も入れてモニタリングしています | 見直しに多くの意見を取り入れています。 | |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 児発管の他、関わる支援員、看護師、医師、理学療法士、施設内の他部署のメンバー(スポーツジムや温泉施設)からの情報も計画取り入れています。 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 虐待が疑われる家庭で情報共有を密に行っています。 | | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 看護師を中心に医療機関との連絡を密に取っています。 | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | 看護師を中心に医療機関との連絡を密に取っています。 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 事前に児童の情報を伝えています。 | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 担当者会議において情報共有を図っています。 | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 受けています。 | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | 当施設は保育園や児童クラブも運営しているので、交流の機会は多いです。 | | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 当施設は市の委託を受けて自立支援協議会を運営しています。 | 子育て支援会議にも出席しています。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 登降時、または連絡帳でのやり取りで共有している | | |
| | 関係機関や保護者との連携 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 障がいを受け入れられない保護者に対して前向きに子育てが出来るよう支援しているつもり | |
| 32 | | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 行っています。 | よりわかりやすく改善必要 | |
| 33 | | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 同意を得ています。 | ガイドラインを職員に周知し、児童の「最善の利益」を念頭に置き、保護者からのニーズもくみ取り作成していきます。 | |
| 34 | | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 保護者懇談を開催しています。 | | |
| 35 | | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 保護者の負担を考え保護者会等は開催していませんが、保護者から声があれば開催しても良いと思っています。ただ保護者がいつでも来れる環境設定をしています。(caféや温泉等) | 要望あれば開催も考慮 | |
| 36 | | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 現場からチームに情報が行き、そこから施設長及び法人理事にただちに連絡するよう心がけております。 | | |
| 37 | | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 毎月活動内容の様子を発行しています。 | ITCでもっとタイムリーにもっと詳しくみられるよう改善します。 | |
| 38 | | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 今後も気を付けていきます。 | | |
| 保護者への説明責任等 | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|--|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | TEACCHやその他、情報伝達には努力をしています。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 温泉や病院スポーツジム等を併設し地域の方がヒビ出入りする地域住民参加型の企画も設定し取り組んでいる | |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | お知らせ紙面にて周知するよう改善します。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 火災・地震・津波などの設定で毎月行っている | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 見学时や相談員から事前に情報を共有し、契約時再度入念に確認 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | しています。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 共有しています。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 研修会の実施と、毎月、部署外のチーフが抜き打ちでチェックをしています。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 記載しています。 | |